

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	消防資機材整備事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	09	01	03	05	53
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防防災課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	笠原 圭史				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	消防吏員	意図	各種災害発生に備え、消防職員が使用する資機材の購入及び更新整備を図るもの。
事業内容	火災等の災害活動に従事する消防隊員の防火服、消防ホース及び各種消防活動用の資機材の更新整備を図ります。			
事業開始から現在までの状況変化	消防隊員等の災害活動時における安全対策として、個人装備品及び災害用資機材の改善が図られてきたが、これまでと違い多種多様な特殊災害が発生する状況下、職員の安全と消防活動の有効性をさらに考慮して資機材整備に努めていかなければならない。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	個人装備品等の購入額	3,405	3,648	2,366	千円	↑↑↑
②	資機材等の購入額	2,724	2,661	4,591	千円	↑↑↑	
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 日々、変化、多様化する過酷な災害形態に対応するため、被災者及び活動隊員の安全を補完する装備の充実を図っている。
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)	10,246,457	8,992,442	9,888,028				
事業費(b)(円)	6,127,457	6,307,642	7,251,228				
うち一般財源	6,127,457	6,307,642	7,251,228				
職員給与費(c)(円)	4,119,000	2,684,800	2,636,800				
人役・職員(人)	0.60	0.40	0.40				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	災害防除活動時における消防吏員の安全確保の向上のため、防火服の更新整備等の実施。	③取組における課題(Check)	消防用資機材において、状況に対応して追加要望等があるため、計画の見直しが必要である。
②H30に実施した取組(Do)	防火服の更新整備をはじめ、消防用ホース及び各種消防用資機材を購入整備し、職員の安全管理を図った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	災害形態の多様化に伴い、必要となる資機材を厳選し計画的に購入する。